

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援てらこやキッズクラブ1		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月 15日		～ 令和7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年 1月 1日		～ 令和7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士と作業療法士とで協議しながら、その子の発達状況を丁寧に見極め、段階的に目標を設定しています。	<ul style="list-style-type: none"> 基本的には定型発達の年齢を目標に療育内容を設定しています。個々の能力をよく観察し、達成可能な目標にする事で「自己肯定感」を高めるようにしています。 集団が難しいお子さんに対しては個別対応を実施し段階的に小集団へ入って行けるようにしています。 最良の環境を見極め保護者や関係機関へ情報提供しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 難しい対応のお子さんの対応方法を、多方面から情報を収集し、更に安定して過ごせる環境を提供出来るようにします。 その子が「頑張っている」様子を保護者にいつでも見学してもらえるようにします。
2	作業療法士による個別支援を実施し、全体の療育とも連携を取っています。	<ul style="list-style-type: none"> 作業療法士による個別支援では、集団では出来ない丁寧な支援と、お子さんの更に細かい点に注目した手厚い活動を行っています。 全体で協議し必要なご家庭に発達検査を勧め、希望者に対して実施をしています。保護者側に結果報告するだけでなく、その結果からその後の療育に反映するための判断材料としています。 	<ul style="list-style-type: none"> 専門の実施加算の対象となる個別支援を定期的を実施する事を継続すると共に、集団支援も在籍しているお子さん全員が定期的に参加出来るようにします。
3	保育園、幼稚園、認定こども園に積極的に情報提供を実施し、相互に見学をする等行っています。	<ul style="list-style-type: none"> 各園と連携が取りやすいよう、まずは当事業所から連絡を取り、ご家庭と園と当事業所の対応や情報に差が出ないよう、常に情報共有するようにしています。 相互の見学を実施する事で園生活と当事業所での様子を比較し、その実際の様子から今の最良の環境とはどんな物かを話し合っています。 	<ul style="list-style-type: none"> お子さんの通ってる全園に見学に来所してもらえていないので、もっと積極的にお誘いしていきます。 入園前に出来る限り情報を提供していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設が放課後等デイサービスと一緒になので、午睡の時間に丁度、児童(小学生)が帰って来るため静かな環境が難しい時があります。	<ul style="list-style-type: none"> 午睡の時間帯は静かに過ごしてもらったり、公園や散歩に行って貰う等、放課後等デイサービス側に活動の工夫をしてもらっています。 療育内容を凝縮し集中して実施する為に、午前中の内に園を中抜けして利用してもらっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 午睡の部屋の防音対策を検討していきたいです。 対応が可能なご家庭には、午睡は各園で済ませてから来所して頂くようお願いしています。
2	送迎範囲が広い為、当事業所から遠い園や家のお子さんの乗車時間が長くなっています。	<ul style="list-style-type: none"> ご利用を検討する段階で、遠方の希望者には乗車時間が長時間になってしまう事をお伝えしています。 雪道も想定し、場所によってはお断りしています。 保護者によるお迎えをお願いする事があります。 	<ul style="list-style-type: none"> お子さんの体に負担が掛からない範囲での利用をお勧めします。
3	利用の連絡がアナログでの対応となっています。	<ul style="list-style-type: none"> 利用の連絡をノートでやり取りしているため、保護者によっては記入忘れや記入した事の伝え忘れ、当事業所側も確認漏れ等となる事があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 順次デジタル化を勧め、療育時間の確保と明確な利用日程表示をしています。